

平成25年3月13日福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋4階視察時の撮影ミスについて

平成25年3月15日
東京電力株式会社

1. 視察当日の状況

- (1) 平成25年3月13日の福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋視察前に、免震重要棟にてビデオカメラ（写真 参照）の養生を実施した。養生後に動作確認を行った際には、異常なく撮影ができることを確認した。
- (2) 1号機原子炉建屋内の視察が始まり、大物搬入口に入ったところから撮影を開始し、大物搬入口に戻ってきたところで、撮影を終了した。その間、液晶画面のモニタは暗い状況であるものの録画中の赤ランプが点灯し、動作していることは確認していた。ただ、2重に養生していた上に、歩行中は安全確認のためモニタを見られなかったことから、撮影した映像を確認していなかった。
- (3) 視察終了後、映像を確認したところ、小さい穴の部分のみ映像が写っており、それ以外は真っ黒となっていた。（写真 参照）



写真 当該ビデオカメラ



写真 視察時の撮影画像

2. 撮影失敗の再現について

次の条件で実験を行ったところ、平成25年3月13日と同様の映像が再現された。

使用したビデオカメラ

撮影時に使用したビデオカメラ

実験を行った日時・場所

平成25年3月14日19時30分頃

福島第二原子力発電所内 会議室

部屋の照明

点灯 消灯して懐中電灯

実施内容

- (1) ビデオカメラのレンズカバーを、正面から人差し指で押さえながら、液晶パネルを開いて電源を入れる。
- (2) レンズカバーが開こうとしてカチャカチャ言うが、1～2秒で動作をやめる。
(レンズカバーは閉まったまま)
- (3) 液晶画面にはエラーメッセージは出ない。
- (4) 録画ボタンを押すと、録画が始まる。中央に丸い円だけが映る。
- (5) 中央の円が上下、左右に動く。(手ブレ補正機能によりブレを補正するため)
- (6) ズームインすると円が広がり、ズームアウトすると円が小さくなる。
- (7) 部屋の照明を消して、懐中電灯で照らした床面にカメラを向けると、画像が暗くなるが、中央に円だけが映っている状態は変わらず。(写真 参照)
- (8) 録画ボタンを押し、撮影を終了。

以上から、**カメラのレンズカバーに何らかの力が加わり、レンズカバーが開かなかった**と推定される。



写真 再現試験結果

3. レンズカバーにどんな力が加わったか

平成25年3月13日と同じ装備（手のみ。綿手、ゴム手×2、軍手）で、3月13日と同じ二重の養生をカメラに施した。（写真）

ビニール袋にビデオカメラを入れて揺さぶったところ、養生の二重目のテープが一部剥がれた（写真）レンズカバーについてしまう可能性があることが分かった。



写真 二重養生実施



写真 外側養生テープ剥がれ

テープをレンズカバーの端につけてみた（写真 ）。
その状態でビデオカメラの液晶パネルを開けると、いったんレンズカバーが半開きになった後、再び閉じた（写真 ）。
この状態でビデオカメラの液晶パネルを見ると、中央に丸い円だけが映っていた（写真 ）。

以上から、養生テープの付着によって、レンズカバーに力が加わった可能性がある。



写真 テープをレンズ
カバーに貼付



写真 レンズカバーが閉じ
られた様子



写真 液晶パネルの映像
(養生のため確認しづらい)